

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組 ~ D 組

使用教科書: (山川 詳説日本史探究)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 選択日本史 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元名・指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	原始・古代 日本文化のあけぼの 古墳とヤマト政権 令国家の形成 貴族政治の展開 院政と武士の躍進 武家政権の成立 武士社会の成長 世の幕開け 制の成立と展開	・律令体制の基本構造を把握し、古代日本が目指した国家の在り方を考える。・律令体制がなぜ行き詰まったのかを考える。また、日本の律令体制を実現するための政治改革を理解する。・天皇家と藤原氏との関わり、藤原北家が摂関政治を確立・武士誕生のきっかけを摂関政治の展開とともに理解する。・律令支配と院政の違いを比較しながら院政期の政治の特徴を理解する。また移り変わる在地支配への理解を深める。・承久の乱により公武の力関係が変化し、本格的な武家政権の始まったことを理解する。・元寇を境に鎌倉幕府が衰えた過程とその原因を理解する。また、建武の新政がなぜ短期間で崩壊したのかを考える。・室町幕府の仕組み、足利将軍家と諸大名との関係を理解する。南北朝の動乱が長期化した原因を理解し、武家社会の変容を考える。	・毎回実施する小テスト(大学入試の過去問題) ・定期考査 ・単元ごとに予想問題を作成しグループで解き解説する(予想問題提出)	○	○	○	39
	定期考査			○	○	○	1
	幕藩体制の動揺近世の幕開け 近世の展望 幕藩体制の成立と展開 幕藩体制の動揺	・織豊政権の統一過程、特色、意義を理解する。また、西洋と日本が接近した理由を世界的な視点で考える。 ・太閤検地によって荘園制が解体されたことを背景に踏まえ、幕藩体制の形成について理解を深めていく。 ・関ヶ原の戦いから大坂の役にかけて、徳川家康が幕府を開き、全国支配を実現した過程を理解する。 ・3代家光のころまでに、将軍と大名が土地と人民を統治する支配体制が成立した過程を理解する。近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。	・毎回実施する小テスト(大学入試の過去問題) ・定期考査 ・単元ごとに予想問題を作成しグループで解き解説する(予想問題提出)	○	○	○	39
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	明治維新と富国強兵 憲国家の成立 日清・日露戦争と国際関係	明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。	・毎回実施する小テスト(大学入試の過去問題) ・定期考査 ・単元ごとに予想問題を作成しグループで解き解説する(予想問題提出)	○	○	○	19
	定期考査			○	○	○	1

<ul style="list-style-type: none"> ・近代文化 ・近代産業の発達 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本 	<p>立憲国家成立の経過を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日清・日露戦争の外交的背景と日本の対応を学習する。 ・近代社会の文化を、背景を把握しつつ学習する。 ・世界経済の破綻を列強諸国がどのように打開しようとしたのかを学習する。 ・戦時下の国内外の民衆の人権・生活の抑圧・抑制を知る。 ・占領下への体制改革の背景としくみを知る。 ・冷戦が日本の外交・内政に与えた影響を知る。 ・石油危機後の国際経済と日本経済・社会の変動について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回実施する小テスト（大学入試の過去問題） ・定期考査 ・単元ごとに予想問題を作成しグループで解き解説する（予想問題提出） 	○	○	○	39
定期考査			○	○	○	1
						合計
						140